

<循環器センター外科>

一般（教育）目標

- (1) 各人の個性と、チーム力を生かして、常に改善と変革を求めながら、患者と社会のニーズに合った最良の循環器医療を提供する
- (2) 循環器外科診療の基本を身につけ主な循環器疾患について検査の目的および結果の解釈、手術適応、手術方法、周術期管理を学ぶ
- (3) ハートチームの一員として円滑なチーム医療を行う

(具体的) 行動目標

- (1) 術前評価
 - (ア) 術前の病歴、症状、検査所見等を評価し、ガイドラインに沿って手術適応の有無を判断する
 - (イ) 術前の全身状態、術前検査結果を評価し手術方法を計画する
 - (ウ) 術前の全身状態、術前検査結果より手術 risk を評価する
 - (エ) 術前カンファレンスにおいて症例のプレゼンテーション、討議を行う
- (2) 手術手技
 - (ア) 以下の標準術式を理解し、手術助手を務めることができる
 - (イ) 冠動脈バイパス術
 - (ウ) 弁膜症手術
 - (エ) 胸部大動脈瘤手術／ステントグラフト内挿術
 - (オ) 腹部大動脈瘤手術／ステントグラフト内挿術
 - (カ) 末梢血管手術
 - (キ) 下肢静脈瘤手術
 - (ク) 皮下、皮膚の縫合閉鎖ができる
- (3) 術後管理
 - (ア) 術式別に術後の循環動態を把握し適切な輸液、薬剤管理を行うことができる
 - (イ) 呼吸状態を適切に評価し、人工呼吸器管理を行うことができる
 - (ウ) 併存疾患の病態を把握し適切な術後管理が実施できる
 - (エ) 創部の評価、ドレーン管理が行える
 - (オ) 適切な術後リハビリテーション計画、退院計画をたてることができる
 - (カ) 中心静脈カテーテル、スワンガントカテーテル、ブラッドアクセスカテーテルを安全に挿入することができる
 - (キ) 栄養状態を客観的に評価し、適切な栄養管理ができる
 - (ク) 適切な抗生素使用ができる
 - (ケ) BLS, ACLS に沿った適切な心肺蘇生法ができる

(4) チーム医療

- (ア) 毎日患者状態を把握し、回診で症例提示を行う
- (イ) 上級医への報告、連絡、相談を徹底する
- (ウ) ハートチームの一員として役割を理解し、効率的な診療を行う
- (エ) 他科およびコメディカルとの連携を密にし、患者の病態把握に努める
- (オ) 他科からのコンサルテーションやコメディカルからの相談を受けたら迅速に対応する
- (カ) 医療安全を理解し遂行できる
- (キ) 常に手技やシステムを改善、変革して、アウトカムと効率性を向上する

学習方略(1)

- (1) 上級医の指導のもとで、術前検査の計画を立て、術前状態を評価する
- (2) 上級医の指導のもとで、手術計画を立て、手術 risk を評価する
- (3) 上級医の指導のもとで、術後の輸液や薬剤投与、人工呼吸器管理を行う
- (4) 上級医の指導のもとで、術後の検査計画、リハビリテーション・退院計画を立てる
- (5) 上級医の指導のもとで、創部の抜糸、ドレーン抜去を行う
- (6) 上級医の指導のもとで、中心静脈カテーテル、スワンガントカテーテル、ブラッドアクセスカテーテルを挿入する

学習方略(2) カンファレンス、勉強会、学会など

- (1) 毎日患者状態を把握し、回診時に報告する
- (2) 術前カンファレンスで症例提示を行う
- (3) ハートチームの勉強会に参加し知識を深める
- (4) 診療における疑問点や不明点は曖昧にせず、上級医に相談し必ず答えをだす
- (5) 興味を持った症例に関して、上級医の指導のもとに学会発表を行う

週間予定（例）※随時、他科コンサルテーションなど

	月	火	水	木	金
午前 1	8:00~ 術前および ICU カンファ レンス 回診 病棟カンファ レンス	8:00~ 術前および ICU カンファ レンス 回診 病棟カンファ レンス	8:00~ 術前および ICU カンファ レンス 回診 病棟カンファ レンス	8:00~ 術前および ICU カンファ レンス 回診 病棟カンファ レンス	7:30~ エコーカンファ レンス 8:00~ 術前および ICU カンファレ ンス 回診 病棟カンファレ ンス 術前症例検討会
午前 2	手術 or 病棟業務	手術 or 病棟業務	手術 or 病棟業務	手術 or 病棟業務	手術 or 病棟業務
午後 1					
午後 2	17:00~ 手術症例ふり かえり 夕回診	17:00~ 手術症例ふり かえり 夕回診	17:00~ 手術症例ふり かえり 夕回診 17:45~ ハートチーム カンファレン ス	17:00~ 手術症例ふり かえり 夕回診	17:00~ 手術症例ふりか えり 夕回診

EV 評価

PG-EPOC による評価（研修医 ⇄ 指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること